

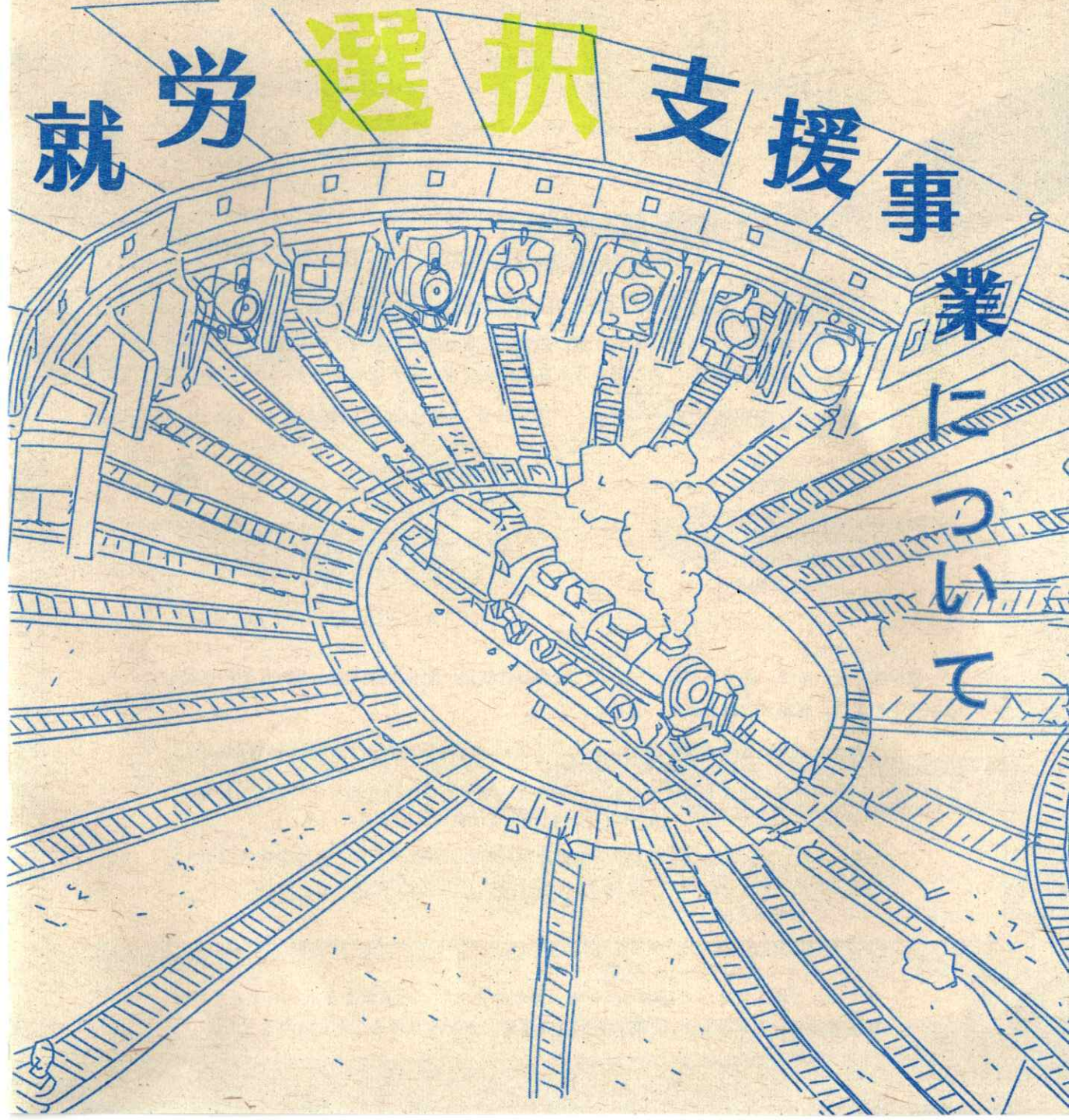
きらりとてくま

第 39 号

特集

就労選択支援事業

について





今回の『きらりとてくてく』は「就労選択支援事業」についてです。
この事業は2025年10月に創設された新しい障害福祉サービスです。

みなさんは「働く」ことについて、さまざまな疑問や不安を感じることはありませんか？

就労移行支援と就労継続支援の
違いがわからないなあ

働きたいけれど
どんな仕事に向いているか
わからない

一般就労ってできるかな

B型事業所に興味あるな

このまま今の事業所を
続けてもいいのだろうか

みなさんそれぞれの疑問や不安はあると思いますが、実は障害を持ちながら働くことを支援するサービスはたくさんあります。また働き方もさまざまです。以下は一例です。

働くことを支援するサービス

- ①ハローワーク
- ②障害者就業・生活支援センター
- ③就労移行支援事業
- ④就労継続支援B型
- ⑤就労継続支援A型
- ⑥障害者職業センター

さまざまな働き方

- ①一般就労
- ②障害者雇用
- ③正社員・契約社員・パートタイム
- オープン、クローズ

選択肢が増える中、就労系福祉サービス（就労移行支援・就労継続支援A型・B型）において、以下のような課題が指摘されていました。

- ・自分の適性がわからないまま、マッチしないサービスを利用している場合がある
- ・一度そのサービスを利用すると、状況が変わってもその後も同じサービスを利用し続けることがある（一般就労が出来るのにB型に通い続けている）
- ・次のステップを促すことができる支援者がいるかどうかで、その後の職業人生が左右されてしまう

そこで、ご本人にとって適切なサービスや次のステップの選択をサポートするための障害福祉サービスとして、「就労選択支援事業」が新設されることになりました。



どんなことをするの？

訓練ではなく「アセスメント」（能力・適性評価）に特化した制度です。

約1か月、就労選択支援員が、作業体験や面談などを通して強みや配慮事項を整理し、本人主体で最適な進路を選択するためのサポートを行います。また、必要に応じて他の支援機関などとの連携、調整も行います。

なお、あくまで決定するのはご本人であり、支援者はその選択を支える立場となります。

話す



やりたいこと
不安な事 etc.

面談を通じてこれまでの生活歴や就労経験、得意なこと苦手なこと、不安なことなどを話します。

体験する



作業体験
企業実習 etc.

事業所や実際の職場を見学したり、実際にやってみます

知る・気づく



自分のこと
社会資源のこと etc.

「働く」にあたって必要な情報を知ります。改めて自分のことに気づきます。

整理する

今後の方向性を
一緒に整理して
決めます

利用期間は？

原則1か月

どんな人が利用できる？

「自分にあった就労支援を受けたい」と希望している方であればどなたでも利用可能です。
また、すでに福祉サービスを利用されている方も利用可能です。

利用するには？

障害福祉サービスの申請が必要です。
ご自身の担当支援者や、お住まいの保健センター、基幹相談支援センター等へご相談ください。

利用しなければならない場合は？

ただし、

一般就労経験の有無や利用するサービス等で「利用しなければならない」という場合があります。

なお、市町村での違いがあります。
ご利用の際は都度ご確認ください。



(2025年10月～)

B

「就労経験がない」方、または「50歳未満」の方が新たに就労継続B型の利用を希望するとき

(2027年4月～)

A

新たに就労継続支援A型の利用を希望するとき

移行

就労移行支援を利用中で2年を超えるとき

事例1

自分にあったサービスを選ぶ

【アジさんの場合】発達障害をもつアンさんは高校卒業後にレストラン（調理）に就職するが、忙しさから体調を崩し退職。引きこもりがちな生活となり就職への焦りが募っていた。「働きたいけど何から始めたら良いかわからない」と就労選択支援を利用することになった。作業体験や面談の中で「曖昧な指示が苦手」「周りにどう声をかけたらわからない」といった特性や、「また体調を崩す不安がある」ことや「やはり調理の仕事がしたい」という気持ちが整理できた。アンさんは支援者と相談し、お弁当を作っているB型の利用から始めることに決定。まずは外出に慣れ、特性にあった対応方法について時間をかけて考えていきたいという目標を定めることができた。

事例2

ステップアップを検討する

【ダンさんの場合】3年前からB型を利用しているダンさんは、毎日楽しく働いていると思う一方で、「もっと自分の力を活かしたい」という思いも感じていた。そこで計画相談担当者に相談したところ就労選択支援を提案され、利用することになった。アセスメントや面談を通して、「集中力が強く、細かな作業が得意」なことや「一般就労に挑戦してみたい気持ち」があることに気づき、就労移行支援へのステップアップを決めた。また、ハローワークにもつながり、求人票をみながらダンさんに出来そうな仕事は何か、就労移行支援の担当者と考えていくこととなった。

その時の人生の状況や環境、健康状態などに合わせて、望ましい就労は変化し続けます。また、誰もが自分自身で「こうなりたいと決定する」権利をもっています。ご自身にとっての「自分らしい働き方」について考える機会を提供するためにこの制度は作られました。焦って結論を出す必要はありません。一度立ち止まり、考え、体験を重ねながら、納得のいく選択をしていくことが大切です。

そうしたプロセスを大切にすることで、より安定した自分らしいワーキングライフへとつながっていくと思われます。

友達追加で
相談開始
オーライ!

「働くこと」の相談を
受け付けています

おしごと
LINE相談



どなたでもお気軽にどうぞ

次号予告

次号は「ジョブコーチ支援」を
テーマにする予定です。